

四半期報告書

(第60期第3四半期)

自 平成25年10月1日

至 平成25年12月31日

ゼリア新薬工業株式会社

東京都中央区日本橋小舟町10番11号

表 紙

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	1

第2 事業の状況

1 事業等のリスク	2
2 経営上の重要な契約等	2
3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	2

第3 提出会社の状況

1 株式等の状況

(1) 株式の総数等	4
(2) 新株予約権等の状況	4
(3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等	4
(4) ライツプランの内容	4
(5) 発行済株式総数、資本金等の推移	4
(6) 大株主の状況	4
(7) 議決権の状況	5

2 役員の状況	5
---------	---

第4 経理の状況 6

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	9
四半期連結包括利益計算書	10

2 その他	14
-------	----

第二部 提出会社の保証会社等の情報 15

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年2月7日
【四半期会計期間】	第60期第3四半期（自平成25年10月1日至平成25年12月31日）
【会社名】	ゼリア新薬工業株式会社
【英訳名】	ZERIA PHARMACEUTICAL CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 伊部 幸顕
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋小舟町10番11号
【電話番号】	03(3663)2351（代表）
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理本部長 遠藤 広和
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋小舟町10番11号
【電話番号】	03(3663)2351（代表）
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理本部長 遠藤 広和
【縦覧に供する場所】	札幌支店 （札幌市白石区南郷通十一丁目南3番13号） 名古屋支店 （名古屋市名東区本郷二丁目173番4号） 大阪支店 （吹田市広芝町5番16号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第59期 第3四半期連結 累計期間	第60期 第3四半期連結 累計期間	第59期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 12月31日	自平成25年 4月1日 至平成25年 12月31日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高（千円）	40,299,654	46,773,373	53,317,844
経常利益（千円）	3,672,984	6,068,275	4,676,998
四半期（当期）純利益（千円）	3,277,785	4,571,082	3,982,226
四半期包括利益又は包括利益 （千円）	3,784,302	6,941,958	7,457,917
純資産額（千円）	33,238,811	42,474,938	36,910,476
総資産額（千円）	76,769,536	85,846,267	78,246,849
1株当たり四半期（当期）純利益 金額（円）	72.08	100.53	87.57
潜在株式調整後1株当たり四半期 （当期）純利益金額（円）	—	—	—
自己資本比率（％）	43.1	49.5	46.9

回次	第59期 第3四半期連結 会計期間	第60期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年 10月1日 至平成24年 12月31日	自平成25年 10月1日 至平成25年 12月31日
1株当たり四半期純利益金額 （円）	23.29	27.16

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 平成25年10月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期（当期）純利益金額を算定しております。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの経営成績及び財政状態に対して影響を与える可能性の高い主なリスクについて、新たな発生または重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、新たに締結した重要な契約は次のとおりであります。

契約会社名	相手先	国名	契約の内容	対価	契約期間
Tillotts Pharma AG (連結子会社)	Cancer Prevention Pharmaceuticals, INC.	アメリカ	家族性大腸腺腫症治療薬の欧州および日本における独占的開発および販売に関する契約	契約金及び一定率のロイヤリティー(支払)	2013.12.27～ 特許期間満了日、または上市後12年が経過する日の何れか遅い日まで

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内需要の回復に伴い、生産が緩やかに増加している中で、雇用情勢や個人消費も改善に転じるなど、景気の回復が緩やかに進んでおります。

一方、医療用医薬品業界におきましては、後発医薬品の使用促進などの医療費抑制策が引き続き推進されており、またOTC医薬品市場におきましては、依然として国内需要の前年割れの状況が続く中、市場競争は一層激しさを増しており、ともに厳しい状況下で推移いたしました。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間の売上高は467億73百万円(前年同四半期比16.1%増)となりました。一方、利益につきましては、営業利益59億65百万円(前年同四半期比71.3%増)、経常利益60億68百万円(前年同四半期比65.2%増)、四半期純利益45億71百万円(前年同四半期比39.5%増)となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の海外売上高比率は、13.1%(前連結会計年度12.4%)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 医療用医薬品事業

主力製品である潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール」は、海外におきましては、Tillotts Pharma AGの自販体制の強化を通じ、引き続き売上を拡大いたしました。また、国内におきましても経口メサラジン製剤でトップの医薬品とするべく市場シェアを着実に伸長させ、売上を拡大いたしました。なお、平成25年6月より販売を開始いたしました自社オリジナル新薬である機能性ディスペプシア治療剤「アコファイド」は、アステラス製薬株式会社との共同販促により早期の市場浸透に努めているところであります。

以上の結果、当セグメントの売上高は280億25百万円(前年同四半期比16.4%増)、営業利益は62億95百万円(前年同四半期比23.2%増)となりました。

② コンシューマーヘルスケア事業

主力製品である「ヘパリーゼ群」につきましては、テレビCM等の広告宣伝活動を積極的に展開した結果、製品認知度がさらに向上し、売上を大きく拡大いたしました。なかでもコンビニエンスストア向けには、「ヘパリーゼW」の上位品として、平成25年10月に「ヘパリーゼWハイパー」を発売し、製品ラインアップの充実を図るとともに、売上を飛躍的に拡大いたしました。「コンドロイチン群」につきましては、医薬品としての有効性、安全性、高品質を訴求し、健康食品との違いを明確にした販促活動を行った結果、堅調に推移いたしました。また、植物性便秘薬「ウィズワン群」につきましても、着実に売上を拡大しております。

以上の結果、当セグメントの売上高は186億7百万円(前年同四半期比15.9%増)、営業利益は34億65百万円(前年同四半期比85.0%増)となりました。

③ その他

保険代理業・不動産賃貸収入等により、当事業の売上高は1億40百万円(前年同四半期比12.2%減)、営業利益は1億16百万円(前年同四半期比14.2%減)となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、54億64百万円であります。なお、当第3四半期連結累計期間における医療用医薬品事業の研究開発活動の状況の変更は以下のとおりであります。

平成25年3月に機能性ディスペプシアを適応症とした製造承認を取得しました「Z-338（アコファイド錠100mg）」につきましては、平成25年6月に上市いたしました。

子宮頸がんを適応症とした第Ⅲ相臨床試験を実施しておりました「Z-100」につきましては、アジア共同治験の実施準備中であります。

スイス Vifor Pharma（ビフォーファーマ）社から導入しました鉄欠乏性貧血治療剤「Z-213」の臨床試験準備に着手いたしました。

(4) 資本の財源及び資金の流動性についての分析

当社グループの運転資金需要の主なものは、原材料、仕入商品の購入などのほか、製造費用、販売費及び一般管理費などの営業費用です。研究開発費は、販売費及び一般管理費に計上されております。一方、設備投資をはじめとして有形・無形固定資産などへの投資資金需要が発生いたします。当社グループはこれらの資金需要に自己資金及び社債の発行、長・短期借入金にて対応しております。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	119,860,000
計	119,860,000

②【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年2月7日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	53,119,190	53,119,190	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	53,119,190	53,119,190	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年10月1日(注)	4,829,017	53,119,190	—	6,593,398	—	5,397,490

(注) 株式分割(1:1.1)によるものであります。

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式 (自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式 (その他)	—	—	—
完全議決権株式 (自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 7,652,600	—	—
完全議決権株式 (その他)	普通株式 45,417,500	454,175	—
単元未満株式	普通株式 49,090	—	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	53,119,190	—	—
総株主の議決権	—	454,175	—

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式61株が含まれております。

② 【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) ゼリア新薬工業株式会社	東京都中央区日本橋小舟町 10番11号	7,652,600	—	7,652,600	14.40
計	—	7,652,600	—	7,652,600	14.40

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,367,129	7,775,914
受取手形及び売掛金	※2 13,625,561	※2 16,699,380
商品及び製品	3,030,860	3,672,028
仕掛品	781,165	819,546
原材料及び貯蔵品	2,730,033	3,024,817
その他	2,714,266	4,349,844
貸倒引当金	△12,142	△12,065
流動資産合計	30,236,875	36,329,466
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	6,415,707	6,998,458
土地	11,593,621	11,574,538
その他（純額）	3,211,226	3,364,541
有形固定資産合計	21,220,555	21,937,538
無形固定資産		
のれん	11,509,131	12,066,860
その他	1,112,814	1,051,883
無形固定資産合計	12,621,946	13,118,744
投資その他の資産		
投資有価証券	10,571,827	10,711,095
その他	3,646,415	3,798,801
貸倒引当金	△50,771	△49,379
投資その他の資産合計	14,167,471	14,460,517
固定資産合計	48,009,973	49,516,801
資産合計	78,246,849	85,846,267
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,308,199	2,799,329
短期借入金	15,250,508	16,423,804
未払法人税等	1,455,415	1,463,550
賞与引当金	1,287,824	1,116,386
返品調整引当金	105,777	150,157
売上割戻引当金	162,766	200,611
その他	3,257,250	5,855,779
流動負債合計	24,827,742	28,009,619
固定負債		
長期借入金	15,665,898	14,539,312
退職給付引当金	152,739	161,244
資産除去債務	73,043	73,539
その他	616,950	587,614
固定負債合計	16,508,630	15,361,710
負債合計	41,336,372	43,371,329

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,593,398	6,593,398
資本剰余金	5,414,745	5,414,745
利益剰余金	30,598,262	34,011,908
自己株式	△7,320,508	△7,333,020
株主資本合計	35,285,897	38,687,032
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	704,955	1,528,244
為替換算調整勘定	735,520	2,259,661
その他の包括利益累計額合計	1,440,475	3,787,906
少数株主持分	184,102	—
純資産合計	36,910,476	42,474,938
負債純資産合計	78,246,849	85,846,267

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	40,299,654	46,773,373
売上原価	13,514,207	13,477,776
売上総利益	26,785,447	33,295,596
返品調整引当金戻入額	112,917	105,777
返品調整引当金繰入額	130,159	150,157
差引売上総利益	26,768,205	33,251,216
販売費及び一般管理費	23,285,547	27,285,339
営業利益	3,482,658	5,965,876
営業外収益		
受取利息	6,097	11,079
受取配当金	292,848	221,417
その他	155,795	109,551
営業外収益合計	454,742	342,048
営業外費用		
支払利息	218,674	182,982
その他	45,742	56,667
営業外費用合計	264,416	239,649
経常利益	3,672,984	6,068,275
特別利益		
固定資産売却益	46	84,820
投資有価証券売却益	—	523,286
受取補償金	250,000	—
債務免除益	943,150	—
特別利益合計	1,193,197	608,107
特別損失		
固定資産除却損	491	51
投資有価証券売却損	10,476	—
固定資産解体費用	28,000	—
特別損失合計	38,968	51
税金等調整前四半期純利益	4,827,212	6,676,331
法人税等	1,534,657	2,107,909
少数株主損益調整前四半期純利益	3,292,555	4,568,422
少数株主利益又は少数株主損失(△)	14,770	△2,660
四半期純利益	3,277,785	4,571,082

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,292,555	4,568,422
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	550,418	823,288
繰延ヘッジ損益	△4,664	—
為替換算調整勘定	△54,007	1,550,247
その他の包括利益合計	491,747	2,373,536
四半期包括利益	3,784,302	6,941,958
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,771,861	6,918,331
少数株主に係る四半期包括利益	12,440	23,626

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 偶発債務

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
ゼリア共済会(従業員)借入債務保証	204,394千円	200,957千円

※2 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
受取手形	53,649千円	47,770千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
減価償却費	1,700,872千円	1,379,283千円
のれんの償却額	495,504千円	529,194千円

(株主資本等関係)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	496,141	12.00	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金
平成24年11月7日 取締役会	普通株式	537,444	13.00	平成24年9月30日	平成24年12月4日	利益剰余金

(2) 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	578,750	14.00	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金
平成25年11月8日 取締役会	普通株式	578,685	14.00	平成25年9月30日	平成25年12月3日	利益剰余金

(注) 効力発生日が平成25年12月3日の配当金支払額に関する1株当たり配当額については、基準日が平成25年9月30日であるため、平成25年10月1日付の株式分割(1:1.1)については加味していません。

(2) 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	24,085,070	16,054,725	40,139,795	159,859	40,299,654	—	40,299,654
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	127	127	330,112	330,240	△330,240	—
計	24,085,070	16,054,853	40,139,923	489,971	40,629,895	△330,240	40,299,654
セグメント利益	5,108,737	1,873,473	6,982,210	136,135	7,118,346	△3,635,687	3,482,658

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△3,635,687千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	28,025,129	18,607,826	46,632,955	140,417	46,773,373	—	46,773,373
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	164	164	363,985	364,149	△364,149	—
計	28,025,129	18,607,990	46,633,119	504,403	47,137,522	△364,149	46,773,373
セグメント利益	6,295,714	3,465,834	9,761,549	116,825	9,878,374	△3,912,497	5,965,876

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△3,912,497千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年12月31日)
1 株当たり四半期純利益金額	72円8銭	100円53銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 (千円)	3,277,785	4,571,082
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額 (千円)	3,277,785	4,571,082
普通株式の期中平均株式数 (株)	45,476,947	45,470,229

- (注) 1. 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 当社は平成25年10月 1 日付で普通株式 1 株につき 1.1 株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1 株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

平成25年11月 8 日開催の取締役会において、当期の中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額・・・・・・・・・・578,685千円

(ロ) 1 株当たりの金額・・・・・・・・・・14.00円

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日・・・・・・・・平成25年12月 3 日

- (注) 1 平成25年 9 月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払を行います。
2 1 株当たり配当額については、基準日が平成25年 9 月30日であるため、平成25年10月 1 日付の株式分割 (1 : 1.1) については加味しておりません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月7日

ゼリア新薬工業株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 富永 貴雄 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 内田 好久 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているゼリア新薬工業株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ゼリア新薬工業株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。